

offering

オフエリング

知っておきたいキリスト教のことば (186)

奉献 ほうけん

「奉献」という言葉を聞くと、すぐに「献金」を思い浮かべる人は多いと思います。礼拝の「奉献」の時間が来ると奉献唱が歌われ、その間に献金が集められます。しかし奉献には、他にも大切な意味があります。

聖餐式の式文を見てみましょう。日本聖公会の祈祷書 172 頁に、奉献の場面が書かれています。最初に執事または司祭はこのように唱えたとあります。「み名にふさわしい栄光を主に帰し、供え物を献げましょう」。

そしてルブリック(小さい文字で書かれた但し書き)にはこのように書かれています。「信施はここで集め、会衆の代表者は、パンとぶどう酒および信施を司祭に渡す」。

司祭はそれらを受け取り、こう祈るのです。「全能の父なる神よ、この『信施』供え物を受け、主のみ業のために用いてください」と。

まず信施というのは献金のことですが、献金を集めないときには『信施』という言葉在省いて祈ります。ということは、「奉献＝信施」ということではないということです。そして「供え物」という言葉ですが、その中には目に見えるパンとぶどう酒も含まれます。さらにそれに加えて、わたしたち自身を神さまのためにお献げするという意味も持つのです。

教会の運営はわたしたちの信施によって支えられ、またわたしたちの交わりはパンとぶどう酒によって支えられています。そして教会の働きは、わたしたち一人ひとりの「献身」によって支えられているのです。そのことを心に留めながら、奉献の祈りをささげていきましょう。

次回は「奉仕」です。お楽しみに。



「キリストの神殿奉献」

ティントレット

(1518 - 1594 年)

すべてはあなたからいただいたもの、わたしたちは御手から受け取って、差し出したにすぎません。

(歴代誌上 29 章 14 節 b)

